

「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」
連絡区分Ⅲに係る連絡（平成18年11月分）について

本日、北陸電力㈱から、「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」連絡区分Ⅲ（保守情報として連絡することが適当なもの）に該当する平成18年11月分の連絡があった。連絡のあった事象の内容は、別紙のとおり3件。

今回、報告のあった事象はいずれも、安全上問題となるものではなく、外部への放射能による影響はない。

なお、県では、修繕状況、再発防止対策等に関して、立入調査により確認を行っている。

参考) 北陸電力HP <http://www.rikuden.co.jp/mreport/index.html>

平成18年12月8日
原子力安全対策室
県庁内線 4234
県庁外線 076-225-1465

(別紙)

北陸電力から連絡があった平成18年11月の「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」連絡区分Ⅲ（保守情報として連絡することが適当なもの）の事象は、以下のとおり

平成18年11月分

発生日時	件名	事象の概要

11月1日	志賀1号機 制御棒駆動水ポンプA号機出口弁の故障について	<p>志賀1号機は、定格熱出力一定運転中、11月1日、2台ある制御棒駆動水ポンプの定期的な切り替え操作のため、片方のポンプ出口弁を全開状態から手動で全閉操作したところ、閉めることができなかった。</p> <p>原因は、弁を上下させるためのネジ山が経年的に削られたため、弁が閉められなくなったもの。</p> <p>当該弁は、損傷部分を含め弁の上部全体を新品に取り替え、11月11日に復旧した。</p> <p>なお、当該弁は通常開状態で運用しており、閉動作ができない状態でも発電所の運転に影響を及ぼすことはなく、また外部への放射能による影響はない。</p>
11月7日	志賀1号機 局部出力領域モニタのケーブルコネクタ誤接続について	<p>志賀1号機の第10回定期検査終了時の試運転段階(平成18年6月)において、炉内にある80個の中性子測定器(局部出力領域モニタLPRM)うち、2個が故障となった。そのため、この2個を運転中には使用しないこととし、運転を継続した。</p> <p>(故障しても運転継続は可能なことは、国において認められている。)</p> <p>11月7日、原子炉が停止したことを受け、点検を行ったところ、この2つのケーブルコネクタが逆に取り付けられていることが確認されたため、ケーブルコネクタを正しく取り付けた。</p> <p>本事象による放射能の外部への影響はなく、運転にも支障はない。</p> <p>その他の同様の箇所853箇所について、点検を行った結果、問題のないことを確認した。</p>
11月17日	志賀1号機 非常用ガス処理系の出口流量計の指示値について	<p>志賀1号機の原子炉施設保安規定に定める監視に用いている計器680台及び定期検査の判定に用いている計器1,096台について確認した結果、非常用ガス処理系の出口流量計(許容誤差約42m³/h)の指示値が実際の値より1.72%高く指示していた。このことにより、運転試験時の実際の流量は、判定基準</p>

1,700m³/hをわずか（最大29m³/h）に下回った場合があった。

この計器については、適正な指示値になるように校正し、非常用ガス処理系の確認運転を行い、流量が適正であることを確認した。